

【佳作】

今自分達に出来る事

函館市立桔梗中学校

2年 鷲田 陽翔

日本固有の領土である北方領土は、長い間にわたってロシアによる不法占拠が続いています。

千八百五十五年、日本とロシアの間で日魯通好条約が調印され、択捉島とウルップ島の間に国境が確認されました。それから、北方四島は一度も他の国の領土になったことがありませんでした。しかし、千九百四十五年、ソ連が北方四島を占領し今に至ります。

今の現状をふまえて、僕は、自分達にできることについて考えました。

まず最初に、自分達にできることは、返還を願い続ける事だと思います。直接島に行って返還を求めるのは、かなり難しいことなので、返還の思いは心の中で謳い続けることが大切だと思います。

二つ目は、島民の思い、島民が今に残してくれたものを忘れないということです。当時北方領土で暮らしていた人々が突然島を占領され、追い出された島民は、きっとたくさん辛い思いをしたと思います。そういった思いを忘れてしまうと、同時に返還に対する思いも薄れていってしまうと思うので、島民の思いや残してくれたもの一つ一つを忘れないことが必要だと思います。

三つ目は、北方領土の歴史を後世へと継いでいくことです。北方領土に今まで何があったのかなど、未来を創る人たちに返還への思いや願いを伝えていく事で、いつか夢に見た返還に繋がると思います。

北方領土の返還までの道のりは、決して短いわけではありません。日本がこれまでもこれからも北方領土の返還を求め続けても、ロシア側の意志も固く、簡単にはゆるがないでしょう。しかし、一人一人が返還を強く願い、島民の思いを引き継いで後世へと伝えていく事で、きっと何か変わると思います。その時まで、僕は返還の願いを忘れずにこれからを過ごしていきたいと思います。